

WUB Tokyo NEWS

No. 3 2004.4.1

発行/WUB東京 広報委員会
発行責任者/重田 辰弥
WUB 東京 事務局(毎週水曜日 11:00~16:00)
東京都品川区西五反田2-12-3 第一誠実ビル7F
〒141-0031
Tel:03-5759-7831 Fax:03-5759-7832
URL <http://wubtokyo.com>
E-mail info@WUBTOKYO@egroups.co.jp



INDEX

2004年 WUB東京 新年会—WUB東京会長 重田 辰弥
第1回世界のウチナンチュ会議、
第7回WUB世界大会に参加して—長嶺 為泰
ハワイ建築ビジネスを訪ねて—菅原 律子
Revacomm社訪問記—平良 智広
ハワイと東京のコラボレーションに参加して—高宮城 悟
ハワイの植物園—三島 康裕
ハワイ大会フラッシュバック
WUB東京3月例会を担当して—又吉 孝
WUB東京フラッシュバック(03年1月~04年3月)
情報発信掲示板—入会/転動/活動予定/編集後記

「2004年 WUB東京 新年会」

WUB東京会長 重田 辰弥

2004年、年も明けやらぬ1月15日、18時半より原宿のライブハウス「オーゴッド!」でWUB東京の新年会が開催されました。

今年の新年会は、国際大学教授 中島 洋 氏の特別講演とミュージックサウンドグループ『TINGARA』によるミニライブの2部構成で行われました。定刻の開会には慶応大学生のチェロによるウェルカム演奏が行われました。

19時、会長の開会挨拶に続いて、中島さんの「IT大国・日本の航路と針路」~変わる沖縄経済と社会~というタイトルのもと、およそ1時間に亘る講演が行われました。



中島教授略歴：1947年生まれ。東京大学大学院(倫理学)修士修了。日本経済新聞で産業部記者、日経コンピュータ、日経パソコン編集記者を担当後、日本経済新聞社編集委員。1997年-2002年慶応義塾大学教授。2001年インターネット博覧会政府館プロデューサー。現在、日本経済新聞大型連載企画広告「キーワードで読むガイアの夜明け」監修中。祖父は戦前の沖縄県首里市長、高安玉児氏。

中島さんは現在、日経BP社編集委員・(株)マルチメディア総合研究所・所長・国際大学グローバル・コミュニケーション教授と多彩な肩書きをもたれますが、日経時代は辣腕な記者として健筆を振るわれ、数々の日経IT関連雑誌の立ち上げと編集に携わり、日本のIT黎明期のヘラルドとして

活躍をされました。あまり知られていませんが中島さんの御母堂は戦前最後の首里市長の娘さんで、また奥さまも首里出身と沖縄には縁浅からぬものがあります。また、WUB東京の誇る会員でもあります。

講演の趣旨は、韓国をはじめ他国に遅れをとったと言われるインターネット、日本が今後3つの領域・つまりデジタルカメラ、携帯電話、ブロードバンドで世界にキャッチアップ、リードできる可能性があること。その延長線上にコールセンターやネット仮想コミュニティーによる沖縄経済社会発展の萌芽を身近な例を上げつつ、パワーポイントによるスライドを表示し、分かりやすく説いたもので、IT業界従事者のみならず、多くの参加者に強い感銘を与えました。



第2部は1月末で退任するWUB東京顧問の幸地球新東京

支社長の乾杯の挨拶で始まりました。第2部のライブ演奏を受け持ったTINGARAのつぐみさんは、石垣出身で2001年10月の、WUB世界大会・東京(WUB東京主管・第一ホテル東京にて開催)でも、そのサウンド提供でお世話になりました。



TINGARAは沖縄で「天の河」を表す言葉通り、悠久の宇宙から降ってくるようなサウンドが会場に響きました。もともとTINGARAはその活動をCDを主としていましたが、昨年の有楽町東京フォーラムでのリサイタルを機に、ライブ演奏もこなすようになり、この日も普段着の飾らないステージで参加者に新鮮な印象を与えました。



TINGARA：TINGARAは「天河原」の沖縄読みで「天の川」の意、沖縄を代表する版画家「名嘉陸稔さん」を通じて出会った、米盛つぐみ、ゲレン大嶋、ビデオ・イシジマの3人のメンバーによって結成されたユニットで、沖縄の満点の星空を歌い上げ、安らぎの中に輝きを放つようなサウンドは、聴衆を幻想的な空間にいざないます。

この新年会、年明け早々の何かと気忙しい時期にもかかわらず、会員、ゲストを含め80名以上が参加、立見も出来る程の盛況裏に終えることが出来ましたことは言うまでもなく企画、演出の高倉、小畑会員はじめ参加呼び掛け、周知連絡や当日の受付、案内をお手伝いいただいた皆さん、そしてご出席いただいた皆さんのお陰と改めて感謝の意を表します。

なにより講演・出演を引き受けていただいた中島教授とTINGARAの皆さんのご協力、有難うございました。



第1回世界のウチナンチュ会議 第7回WUB世界大会・特集



「第1回世界のウチナンチュ会議、第7回WUB世界大会に参加して」

長嶺 爲泰

この度ハワイ、ホノルルにて8月29日から9月2日の5日間に“第1回世界のウチナンチュ会議”、“第7回WUB世界大会”並びに“第21回沖縄フェスティバル”が開催された。

沖縄からはチャーター便2機、東京、大阪も含め世界10カ国から約千人（外国からの参加者一人一人をホノルル空港にてレイの花輪で出迎えてくれた）、地元を含めて2千人以上の参加者で賑わい、海外で初めての沖縄関係の大規模な集いとなった。

8月29日夜の市内ホテルでの歓迎ガーデンレセプションは、地元主催者のもとより、ハワイ州知事、ホノルル市長、州選出国會議員ら、多彩な方々の出席のもとに千人を遥かに超える大賑わいであった。続く30日もハワイ州知事を始め、ホノルル市長、国會議員等を先頭に世界のウチナンチュが一同にカラカウア通りをパレードした事は、2001年9月11日のテロ以後低迷していたハワイ観光に大きなインパクトを与えこの集いが如何に重要な役割を果たしたかが伺い知れる。さらにカピオラニ公園で2日間の沖縄フェスティバルが開催され、故郷沖縄の歌や踊り、エイサー、太鼓等の発表と並行して、沖縄に関する多彩な食料品、衣料品等の販売テントが設営され、大いに賑わった。

又、9月1日・2日と世界ウチナンチュ会議・WUB世界大会がハワイ大学・東西センターにて開催された。現地関係者や稲嶺県知事の挨拶に続き、沖縄テレビ放送の前原信一



氏の長年に渡る取材を元に世界に散らばる沖縄からの海外移住者についての基調講演が行われた。内容は「1899年のハワイ移民に始まり、1904

年のメキシコ、フィリピン、1906年のペルー、1907年のカナダ、1908年のブラジル、アルゼンチン、戦後1948年のアルゼンチン、ペルーへの呼び寄せ移民、さらに1954年に始まる米軍基地による土地強制接収等の解決策として琉球民政府主導で送り出されたポリヴィア移民」、これら関係者との取材から得たウチナンチュ魂を3つの要素にまとめて説明された：イチャリバ



チョウデー（開放的）、テゲー（時間にルーズ）、ナンクルナイサ（楽天的）、この3要素が他府県からの移住者と異なったウチナンチュ社会を構成していて、ある時は軽蔑的差別を受けた事や、又ある時は親密的歓待を受けるなど、一世から五世に至るまでの苦難や成功に関するストーリーを解りやすく語り一同感銘を受けた。私自身、1954年のポリヴィア第一次移民当事者の一人として、忘れていたジャングルでの生活や熱帯病との戦いで生死をさまざめた過去を思い出し、100年前に移住した方々のご苦労や、沖縄の移民歴史の全体像が理解でき、大いに参考になった。午後からWUB世界大会開会式に引き続き、沖縄科学技術大学院大学の構想を提唱された尾身幸次衆議院議員（前沖縄担当大臣）の沖縄発展に与える文化・経済効果等に関する特別講演や、WUB組織を通じたウチナンチュ同士の連帯感・協力による国際貿易、旅行事業、国際結婚の問題等々、21の各分野に分かれた会議が翌日2日まで続いた。故郷沖縄に戻って個々人の親睦を図る事を目的とするのがウチナンチュ大会であり、さらに世界へと発展させた相互の信頼関係の基に会員の専門職を軸に各国の特徴や特産物を生かし情報交換及びビジネスを目的とするのがWUB組織である。これは正に世界のウチナンチュ同士が華僑組織に見習った「琉僑」組織を築き上げるのがWUB設立の本来の目的であると認識している。今回は7年目にしてWUBの主目的である“ビジネス”がWUBアルゼンチンにて“共進貿易”

の名前で設立され活動している旨の報告があり、参加者一同に大きなインパクトを与え、来年の大会までには小粒ながら“貿易部門”参加者だけでも情報交換を継続して実績を作ろうとの希望につながった。

最後は会場をハワイ大学野球場に移し、数千人のウチナンチュで球場を埋め尽くし各エイサーグループやりんげんバンドの演奏で熱狂的な雰囲気の中に閉会した。

今回の“第1回世界のウチナンチュ会議”は、沖縄県が主催する“世界ウチナンチュ大会”を1990年、1995年、2001年(2000年はG8開催した為、一年繰り延べとなった)の三回を故郷沖縄にて開いて来たが、5年に一回では期間が長すぎるとの参加者からの声があり、WUB創設者のロバート仲宗根氏を中心にハワイ沖縄県人会とWUBハワイが主体になって全てをボランティアや寄付金等を基本に、第7回WUB世界大会と共催する形で多くの参加者を迎えた。これほど情熱のこもった国際会議・大会は初めてだと地元共催者並びに世界各国からの参加者から感謝と満足の声が多々聞こえた。次回ウチナンチュ会議は2008年にブラジル沖縄移住100周年に合わせてWUB世界大会と共済でブラジルにて開催する事が決まった。

今回の集いで海外在住のウチナンチュが悲惨な状態にあった終戦直後の故郷沖縄同胞への物資や経済援助がどれ



ほど沖縄県民に大きな支えになったかを知り、又それ以上に故郷に情熱を持った海外在住ウチナンチュ

が今後の沖縄発展の為に重要な役割を果たし得るかを感じたのは私だけだろうか。沖縄全体が基地経済と中央政府からの特別予算を受けて30年を超え、豊かな生活を営みながら、基地の無い沖縄を望む気持ちは大いに理解できるが、現実には基地が無くなれば当然の結果として中央政府からの援助も乏しくなるのは明らかである。県外に住んでいる者から見れば戦前・終戦直後の悲惨な生活を忘れない為にも早急に対策を考える必要があるかの様に思えてならない。沖縄の自立経済を育てる意味からも故郷に思いを募らせる海外在住のウチナンチュとの絆・連帯感を強化して華僑に見習った“琉僑”精神を発展させることが肝要であるかと思う。ウチナンチュには世界に通用するチャンプルー文化と音楽、長寿と健康食文化が有ると共に、人間として最も大事な“イチャリバチョーデー”(相互協力)の豊かな精神を持ち、“テーゲーグアー”現在使われている(時間を守らない)ではなく、本来の意味である(丸く治める)を再認識し、“ナンクルナイサ”の楽観的精神で苦しいときでも焦らず冷静に対処する事によって、世界で通用する国際人になれると強く感じた。どうせ米軍基地と共存せざるを得ないならば、時間を有効に生かし、それを逆に生かして沖縄全体を小学校から英語教育を徹底し、また若い人達を積極的に県外・海外に出す事により、世界に通用する国際人が育成され、それが自ずとして沖縄の自立経済を作る要になると思う。



第1回世界のウチナンチュ会議 第7回WUB世界大会 スケジュール

8月29日(金)	11:00~14:00 19:00~21:00	ホノルル市内観光(ハワイ沖縄センターほか) 歓迎レセプション(シェラトン・ワイキキ・ホテル)
8月30日(土)	09:00~11:00 11:00 ~20:00 16:00~ 18:00~20:00 22:00~02:00	パレード(カラカウア・アベニュー) 沖縄フェスティバル公式開会式 沖縄フェスティバル(カピオラニ公園) WUBインターナショナル会議 (オアフ・カントリークラブ) 盆踊り(カピオラニ公園) アロハ歓迎ラウンジ<自由参加> (クウィーン・カピオラニ・ホテル「アカラ・ルーム」)
8月31日(日)	09:00~17:00 19:00~21:00 22:00~02:00	沖縄フェスティバル(カピオラニ公園) WUB東京ナイト夕食会(ベトナム料理「マイ・ラン」) アロハ歓迎ラウンジ<自由参加>(クウィーン・カピオラニ・ホテル「アカラ・ルーム」)
9月 1日(月)	09:00~16:30 18:00~20:00	WUC・WUB会議(ワークショップ)等(ハワイ大学 東西センター) WUBサンセットクルージング夕食会
9月 2日(火)	09:00~14:00 17:00~21:00 22:00~02:00	WUC・WUB会議(ワークショップ)等(ハワイ大学 東西センター) 沖縄フェスティバル閉会式(ハワイ大学 野球場) WUB打ち上げパーティー(クウィーン・カピオラニ・ホテル「アカラ・ルーム」)



「ハワイ建築ビジネスを訪ねて」

菅原 律子

東京からの旅疲れも何のその。ホテルに荷物を放り入れ、歓迎レセプションまでの小一時間をタクシー飛ばした先がデュラン・メディアファイブオフィスでした。

10数名の所員で世界各地の建築インテリアデザインを手掛けている。日本でも東京湾ウォーターフロント高層マンションなどデザインマンションのはしりを担ってきた。ご案内役 Dr.マイケルによると、スタッフは世界中から集まっており、近年はベトナム・韓国そして日本から多いとのこと。オフィス内で目を引いたのが各人のスペースの片側はコンピューター、片側は昔ながらの製図板があることで、これはコンピューターによる設計の盲点をカバーしつつ、デザイナー自らの手で空間を確認するいい手法だと感心した。



ホテルまでマイケルさんご自慢のカプリオレで送って頂いたが、知人に会うこと数回。「ここでは車越しにミーティングができますよ」と笑っておられました。

逗留先ホテルに約束の30分前に現れたのが前WUBハワイ会長ソンプレロさん。彼はコーヒー豆の輸出業の傍ら、その日は本業の不動産業でオープンハウスを案内してくれた。カハラという高級住宅地で3軒回ったが、ここでもインテリアの主流は中国様式であり「今一番の顧客は中国人です」とのご説明でした。さすが世界の別荘地「ハワイ」と感嘆したが「数年前は韓国風が主流でした」との事で、建築様式もここでは世界経済動向次第という訳である。



リゾート地でのビジネスは、他から見るよりさぞご苦労も多いと察するが、しかしDr.マイケルもソンプレロさんも大いに仕事を楽しんでいる印象でした。この分だとソンプレロさんの「ハワイ初の温泉リゾートを作りますよ！」も直ぐかも知れない。

リゾート地でのビジネスは、他から見るよりさぞご苦労も多いと察するが、しかしDr.マイケルもソンプレロさんも大いに仕事を楽しんでいる印象でした。この分だとソンプレロさんの「ハワイ初の温泉リゾートを作りますよ！」も直ぐかも知れない。

「Revacomm社訪問記」

平良 智広

ハワイ滞在中にRevacomm社を訪問することになりました。同社はWUBハワイメンバーのキース・イトウ氏と、弟のエルドン・イトウ氏が経営に参加しているweb・ITの会社です。参加者は、重田会長、三島副会長、菅原副会長、湧川さん、豊嶋さん、波照間さん、高宮城さん、国吉さん、平良。

オフィスを見学させていただきましたが、3人分の机がセットになってハート型になる机など、さすがデザイン・製作から発展した会社だと感心しました。Revacomm社が力を入れているホテルシステムとは、中小規模のホテルの予約機能を束ねることにより多人数の予約に対応するものでした。ITでは重田会長と、webデザインでは湧川さんと

接点があり継続的に情報交換する事となりました。

大会参加が契機となりましたが、なかなか有意義な訪問だったと思います。沖縄や東京での大会に参加した時にはあまり気づかなかったのですが、このような出合いを多く作る仕組みとしては各地での大会開催は有効な方法だと実感しました。



「ハワイと東京のコラボレーションに参加して」

高宮城 悟

WUBハワイ大会でハワイと東京合同のIT関連のプレゼンテーションを行いました。

ハワイのプレゼンターはバートとキース、東京は私。ところが、なんとかなるさと楽観的に構えていた私は、当日会場に向かうタクシーの中で、準備不足に呆れ心配した東京メンバ（平良さん、国吉さん、上原さん）を前にリハーサルをやる羽目になっていました。Do you have any question? (なにかに質問はありますか?)、英語のスピーチ練習をする私に、タクシードライバーが振り向きま



まで心配?してくれていました。

プレゼンの内容はオープンソースについてバートが全体的な話をして、私が活用例の話、キースが今後の動向について話すというもの。バート、キースと私は一度も会ったことがなく、事前の打ち合わせもしていなかったのですが、それぞれのプレゼンの役割を果し、また繋がり、予想以上にうまくいったように思います。この結果は、バート、キースの企画(想い)と、それがハワイとのネットワークを築いていた国吉さんを通じて私たちに伝わったこと、東京メンバーが結束して東京のプレゼンターをサポートしたことなどによるものと思います。

ハワイと東京のコラボレーションに参加して、楽しくまた貴重な経験をさせて頂きました。皆様どうもありがとうございました。♪

以前からは是非訪ねたいと思っていたホノルル植物園の一つを訪ねることが出来た。ホテルからタクシー約20分の所にあるのがフォスター植物園である。ハワイにはそれ以外に4箇所の植物園が存在する。主にハワイ原産植物を集めたリリオカレニ、冷涼から湿潤な熱帯地域産の植物を収集したワヒアワ、オアフ島の乾燥性の植物が中心のココ・クレーター、コオアラ山脈の裾野にある、ホオマルヒア等、各々特徴のある形態を有している。

世界大会の興奮と喧騒そして華やかなホノルル市内を離れ、植物園に一步踏み入れると沈黙と静寂の世界であった。最初に出迎えてくれたのが、巨大なガジマルと菩提樹の巨木で、ガジマルの細長く垂れ下がる気根は幹のようになり葉と樹皮は薬用として、特に気根は菌痛止めに用いられる。菩提樹は仏教徒にとって神木で、印度のプッタガヤでゴ



CANNONBALL TREE

ダマ・ブッタ(釈尊)がその木の下で悟りを開いたといわれ、此処にあるのはその木の末裔だそうだ。EARPOD(熱帯アメリカ原産)は樹高40m幹の

直径3mで有用な建材だ。カボックも巨木で莢から綿が採れ防水性の繊維で、救命具、マットレス等に使用される。ミンダナオガムは樹高60mに達し建材に有用で、この巨木は、多雨地域の原産でニューギニアからものだ。フィリピンでは限られた量のみが伐採が許可されている。



Howlandia, このサガリバナ科の木は南米ギアナの原産です。花が幹から直接咲いています。名前は重い砲丸型の果実に由来します。

ここには他に世界中の熱帯地域から集められた珍しく美しい植物がある。これらの中にはその自生地では既に絶滅ないし、その危機に瀕死の種も残っている。この貴重な種を守る為、ボランティアによる支援組織があり、植物収集のための資金提供やそのほか、多くの国民からの援助がある。園内で会ったのはせいぜい4~5人で実に贅沢で優雅で且つ有意義な散策であった。

密林に居るような中の種々の植物を紹介するのは紙面上無理なのでWUB東京の筆者の写真館をご参照頂こう。今回は一箇所しか訪問出来なかったが次回は残りの4箇所を訪ねたいと思う。

●ハワイ大会フラッシュバック●



●8月29日出発組は、21:30成田出発。同日9:45ホノルルに到着。その足で市内観光に。写真はハワイ沖縄センター前にて。

●若手?メンバーの皆さん、WUB東京ナイトのセッティングご苦労さまでした。



●ヌアヌバリ、昼食の後、市街をまわりカメハメハ大王にもごあいさつ。



●9月1日WUC・WUB会議の後、WUBサンセットクルージングへ。ミス沖縄を囲む重田会長、知花さん、平良さん。



●8月30日朝からワイキキのメインストリートをパレード。終点のカピオラニ公園にて記念撮影。

●9月2日17:00よりハワイ大学野球場にて沖縄フェスティバル閉会式。地元や沖縄から参加の民謡・エイサーなどのあとフィナーレはりんげんバンドのライブで大盛り上がり。



●8月31日の夜はWUB東京ナイト。ベトナム料理「マイ・ラン」にて、WUBハワイやWUB関西からの参加もあり40名の夕食会となりました。



●9月2日22:00よりクウィーン・カピオラニ・ホテルでWUBの打ち上げパーティー。大願成就のヒゲ剃りイベントや胸毛コンテスト、カチャーシーで深夜まで賑やかに。

「WUB東京3月例会を担当して」

又吉 孝

今まで多くの諸先輩方が様々なプレゼンテーションを行ってきたWUB東京定例会。そのプレッシャーの中、私自身が10年近く携わっております音楽ビジネス界について、



現在所属しております「チ・ボラグ音楽事務所」に関しての音楽ビジネス、更には私自身が取り組んできております沖縄県内での企画提案・実現したコンサート・イベント等も紹介し、今後のビジネス・プランをプレゼンテーションさせていただきました。

今回当初予定されていた3月4日(木)から私自身の都合により公休日でもある3月20日(土・休)へ変更させていただきましたが、皆様お忙しい中20名近くの方が参加していただきました。又、通常お世話になっている日本アドバンスシステム社会議室をお借りせず、沖縄料理店「神田や

いま」様を通常営業時間より3時間も早くOpenして、利用させていただきました。それは今回のテーマが「音楽業界」という事で、プレゼンテーションにて映像と音響機材が使用出来、沖縄料理もいただけるという利点もありましたが、当たり前のように毎回日本アドバンスシステム社会議室をお借りしている事から早く脱却し、今後の定例会に一つのケースになれば、という狙いもありました。

実際のプレゼンテーションでは、会を始める前から弊社のメイン・アーティストである「チ・ボラグ」のCD(馬頭琴演奏)を流し、お店のご好意でアジアン・ティーを出していただき、まずは雰囲気から楽しんでいただきました。簡単な挨拶及びアーティスト説明後、「チ・ボラグ」TV出演時のVTRを見ていただ



《2003年1月》

24日/在沖会員の(有)ぱずる代表の湧川ふき子さんが商用で上京、新年会を兼ねて都道府県会館で、ビジネスプレゼンテーションをしていただきました。



WUB東京 フラッシュバック (03年1月~04年3月) PART 1

など会員を増やすための魅力ある活動を目指すことを発表。WUB東京旗の初披露。



《2月》

8日/銀座ルノアール会議室にてIT勉強会を実施。

18日/WUB東京2月例会を霞ヶ関ビル33階 東海大学校友会館

で開催。WUBハワイからロバート仲宗根WUBファウンダー、クラレンス・上原さん、エド・久場さんが来日、第7回WUB世界大会準備の様子などの報告がありました。



《3月》

15日/WUB東京3月理事会&例会、2003年度総会総会に向けた準備。WUB東京三島康裕副会長による電子ブック「ニーム読本」制作販



《4月》

12日/WUB東京4月理事会えーく発行や4/24の総会の本格準備。

懇親会は重田会長の誕生日会、おめでとうございます。

17日/WUB東京の旗、完成! 総会に間に合いました。



24日/2003年度定期総会は東海大学校友会館にて開催。年2回のイベント開催やビジネス情報を積極的に交換する

26日/WBC世界スーパーバントム級タイトルマッチ仲里繁vsオスカー・ラリオス戦を観戦。



《6月》

5日/WUB東京6月例会に北米より斎藤陽子さんや高砂部屋の一ノ矢さんも出席、懇親会も賑やか。



17日/東金城沖縄タイムス東京支社長、銘刃編集部長合同壮行会。

27日/国立オリンピック記念青少年総合センターにてWUB



会員又吉さん司会による沖縄県出身学生就職支援セミナーおよびパネルディスカッションにスピーカーとして重田会長、パネリストとして菅原さん、屋良さん、国吉さん、仲村渠さん参加。

《7月》

1日/WUB東京7月理事会 (NAS)

4日/WUB東京7月例会は東海大学校友会館において呉屋守章金秀本社代表取締役副社長によるプレゼンテーション。「金秀グループのこれまでの事業展開の流れについて」



き、言葉やチラシだけでなく、実際に音と映像にてアーティストを感じていただきました。(ここでアーティストの説明をさせていただきますと、「チ・ボラグ」はモンゴル伝統楽器‘馬頭琴’の第一人者であり、中国国家一級演奏家という称号を持つモンゴルを代表するアーティスト。また馬頭琴とは、三線や二胡の原型とも言われている500年以上歴史のある察弦楽器で、チェロにも似ている楽器。)



珍しく楽器であり普段なかなか耳にしない音楽の為、楽器の演奏方法からモンゴル音楽のみならず、モンゴル国の特徴や民族性、今話題のモンゴル相撲、生活習慣から歴史に至るまで様々な話題が上がり、質疑応答の時間が足りない程盛り上がりました。

今後は、質疑応答時間でもアイデアとして出ましたが、

モンゴル音楽のみならず沖縄音楽や邦楽等、アジアをキーワードに様々な音楽ジャンルとのシリーズ・コンサート、コラボレーション・コンサートを企画立案し、実現に向けて計画を立てております。実現の際には、是非ご来場いただければ幸いです。

今回このような機会に恵まれた事に感謝しております。又この場を借りて、御忙しい中参加していただきました皆様へ感謝の気持ちを込めてお礼を言わせていただきます。

- 西東京市「こもれびホール」フライデーライブ
 - ・第25回「モンゴル～大草原のひびき～ チ・ボラグ 馬頭琴の世界」
6月11日(金)開演19:00～ 全席自由¥3,000-
 - ・第26回「～沖縄の心を唄う～ 大工 哲弘 鳥唄の世界」
7月9日(金)開演19:00～ 全席自由¥3,000-
- 神奈川県内某ホールにて
モンゴル、沖縄、津軽を代表するアーティストのコラボレーション企画が実現間近!! 近日発表予定です。

27日/新木場のスタジオコーストでの在東京ペルー総領事館主催の独立記念祝祭行事「ペルー共和国移住100周年祝賀会」。



WUB東京 フラッシュバック (03年1月~04年3月) PART 2

《12月》

4日/WUB東京忘年会は、銀座モルチェにて沖縄在住の花城可雅会員によるスピーチ「インフルエンザと危機管理」。

27日/天久テラスにて「WUB東京忘年会in沖縄」二次会は湧川邸で盛り上がり。



《8月》

8日/第7回WUB世界大会キックオフ会議、WUB東京記念品ロゴ入りサンバイザーに決定。



29日~9月2日/WUB世界大会(ハワイ)・世界のウチナンチュ会議。WUB東京から23名参加。



《9月》

20日/WUB東京会員の一ノ矢さんの応援観戦を!とのご提案があり、両国国技館へ応援観戦に行きました。締めは、やはり「ちゃんこ」。

22日/WUB東京9月例会はハワイ大会の報告会。



屋良朝男さん(光文堂印刷株式会社)が10月より沖縄に転勤のため、懇親会を屋良さんの壮行会に。

《10月》

7日/ロバート仲宗根夫妻、呉屋インターナショナル会長を囲んで夕食会。



《11月》

1日/11月理事会(NAS)、今後の例会運営について検討。

《2004年1月》

15日/拡大WUB東京新年会はWUB東京会員高倉理事、小畑監事の奮闘で企画実行、80名もの参加者で盛況でした。

29日/重田会長が代表であるNAS社が沖縄県知事より県の労働行政への貢献に対し感謝状をいただく。



《2月》

4日/WUB東京2月例会は重田会長自ら株日本アドバンスシステム社創業経緯と課題。沖縄とのビジネス関りを映像を駆使したプレゼン。



28日/沖縄ツーリスト東京支店会議室にてWUB東京理事会。地球を模したWUBのロゴ入り「KWワイン」を賞味「おいしゅうございました」。

《3月》

20日/WUB東京3月例会は、又吉孝(チ・ボラグ音楽事務所)の音楽ビジネス報告。

24日/琉球料理「古都首里」にて琉球新報の名城さんの送別会。



27日/渡慶次豊さん(WUB東京会員)、春恵さんの結婚式が、横浜の「セントジェームスクラブ迎賓館」で行われました。

新事務局として発進して早2年。多くの方々から叱咤激励をいただき、大変感謝しております。これからも変わらぬご支援ご協力よろしくおねがいします。

情報発信 掲示板

●入会 (2003年1月から2004年3月末日現在)

- ・NHK報道局映像センター 早川 きよ
- ・那覇市東京事務所 新城 和範
- ・アメリカンフラワー 嘉手納 登美子
- ・(株)フロンティアオキナワ21 渡名喜 守正
- ・スマイルライフコンサルティング/NPO日本マリ国際経済交流協会 高野 一治
- ・琉球大学法文学部助教 知念 肇
- ・(株)レントラックジャパン 宮城 朗子 (元WUB東京スチューデント)
- ・バイオリニスト 屋比久 潤子
- ・三菱商事(株) 仲村 渠智 (元WUB東京スチューデント)
- ・デイリーヨミウリ 久高 秀子
- ・(株)友伸エンジニアリング 与座 章倫
- ・JTB 栗林 幸生 (WUB関西より転籍)
- ・群馬県立女子大学 文学部美学美術史学科助手 波照間 永子
- ・(株)日本アドバンスシステム 西平 点
- ・イーエムシージャパン(株) 翁長 亨
- ・総務省 読谷山 洋司
- ・(株)おきなわ物産センター 下里 英俊
- ・(株)日本総合研究所 中野 賢

●転勤 (()内は新勤務先)

- ・上原 秀樹さん (沖縄電力(株) IT推進本部IT事業グループ

係長)

- ・東金城 筭一さん (有)タイムスアド企画 代表取締役社長)
- ・銘苅 達夫さん (沖縄タイムス社 報道局学芸部部长兼論説委員)
- ・屋良 朝男さん (光文堂印刷(株) 本社企画開発部 次長)

- ・幸地 光男さん (琉球新報社)
- ・名城 知二郎さん (琉球新報社)
- ・平良 智広さん (株)NTTデータ東海 法人事業部営業部長)

●活動予定

2004年8月17日~19日 第8回WUB世界大会 in アルゼンチン
詳細については、大城副会長 (沖縄ツーリスト: 03-3509-6311) までお問い合わせください。

■編集後記

桜も散り新緑が一斉に吹き出しノースリーブの若い女性もチラホラ目にするようになり、季節の移り変わる様を感じる昨今。「え〜く」3号配布も蠟山由美理事 (有)ビプロ) を中心に今期最後の総会に何とか間に合うべく努めている。WUB東京も今年8月のアルゼンチン世界大会、来年のペルー大会と南米シフトへ転換、新たな会長のもとで動き出す強力な新体制に期待したい。最後に紙面をかりて本誌発行にご協力いただいた会員諸兄弟に感謝とお礼を申しあげる。
「いっぺーにへ〜でびる」



(WUB東京 副会長・事務局長 三島 康裕)

デジタルソリューションのための ベストパートナー



私たちは、お客さまにとって
最適な情報環境をご提供する
情報戦略のプロフェッショナル企業です。

業務内容: 各種事務処理系アプリケーションの開発から、ハードウェアの選定・導入から運用。[WEB系ソフトウェア][DBソフトウェア][CGソフトウェア] など各種アプリケーションの開発。クライアント・サーバシステム (CSS) にかかわる各種ソフトの設計、開発、コンサルティングなどデジタルソリューションに関わる全ての業務を行っています。

インターネットグループウェア
提供サービス
Internet GroupWare
らくらく手帳
<http://www.rakunote.com/>

琉球王国の交易市場
おぎなレイチ
Okinawa I.W.C.
<http://www.okinawa1.co.jp/>

**株式会社
日本アドバンスシステム**
<http://www.nasbi.co.jp/>

本社 東京都品川区西五反田2-12-3 第一誠美ビル TEL:03-5759-1781 FAX:03-5759-1627
大阪事務所 静岡事務所 沖縄事務所



いこうよ! おいでよ! 沖縄!



ねっ? 違うでしょ? これが沖縄の海。

創業40余年 迅速・確実なサービス



沖縄ツーリスト

信頼のマーク 北海道から沖縄まで……全国34店のサービスネット

東京支店 銀座案内所
TEL (03) 3509-6311 TEL (03) 3562-6455
港区新橋1-13-12 (銀座わたしたショップ内)
E-mail: tyo@otsinfo.co.jp